

京都女子大学

発達教育学部紀要

第 20 号

令和 6 年 3 月

表 良樹・表 麻弥・表 真美：小学生を対象とした造形表現ワークショップ の実践—取手市の学童保育における染色活動— ……………	1
坂井武司・赤井秀行：幼児教育における算数の基礎を評価する視点に関する 研究—幼稚園教員へのアンケート調査をもとに— ……………	13
水戸部 修 治：小・中 9 年間の系統性を生かした国語科の学習指導に関する 考察—「書くこと」題材の設定、情報の収集、内容の検討を 中心に— ……………	25
村 井 尚 子：遊びの時間としての子どもの時間の人間学的意味 —保育のリフレクションの事例分析から— ……………	37
森 久 佳：デュイ実験学校におけるレシテーション（recitation）の 特色—デュイのレシテーション観と比較して— ……………	47
大川尚子・矢本良江：学校保健活動における養護教諭の ICT 活用 ……………	59
ガハプカ 奈美：声楽指導における指導言の意味づけに向けた考察 —イメージの具体性をめぐって— ……………	67
坂 本 光 太：初等・中等音楽科教員養成課程のための総合的な「指揮法」 の試み—「合奏」との融合を通して— ……………	77
矢野 真・田爪宏二・吉津晶子：就学前教育・初等教育における ESD 実現の ための木育教材の開発Ⅱ —地域滞在型（短期）フィールドワークの実践を通して— ……	89
松 浦 ひろみ：別室登校支援学生ボランティア活動のあり方について ……………	99
: —————	
令和五年度公開講座 ……………	105
修士論文・卒業論文題目 ……………	106

令和5年度 公開講座

◆新発達教育学部 開設準備講座 2023年8月1日（火）13:00～16:00

新時代の教師教育と教育学研究を切り拓く「これからの日本に求められる教師と学校」

講師 熊本大学大学院 特任教授 前田 康裕 氏

司会 発達教育学部 教育学科 教授 森 久佳 氏

◆児童学科公開講座 2023年11月25日（土）13:00～16:00

現代人形劇の100年 ～人形劇 もっと！こどもへ、おとなへ、未来へ～

第1講座「現代人形劇の100年から見えてくる人形劇の魅力」

講師 人形劇の図書館館長 湯見 英明 氏
人形劇団トロッコ主宰

第2講座「人形劇が子どもにもたらすもの」

講師 発達教育学部児童学科 教授 松崎 行代 氏

特別展示「現代人形劇の100年～人形劇の図書館コレクションから～」

2023年11月21日（火）～11月30日（木）10:00～16:30

図書館交流の床1階

令和5年度

大学院発達教育学研究科 修士論文題目

〈心理学専攻〉

- 菊 地 宝 内受容感覚およびマインドフルネス特性がネガティブ感情に及ぼす影響
澤 井 美 佐 高齢者における加齢に対する自己知覚と認知機能との関連について

〈表現文化専攻〉

- 謝 芳乃香 社会課題との対峙から見る武満徹と林光の音楽表現
～1980年代のピアノ作品の演奏実践を通して～
永 井 海 凧 舞台での歌唱表現
～ファミリーミュージカル《少女ひかりとお話の国》を用いて～
山 本 実 季 音楽創作を通じた異文化の対話・融合の探求
～西洋音楽・日本音楽・ポピュラー音楽による複言語的アプローチ～

令和5年度

発達教育学部教育学科 卒業論文・制作題目

教育学専攻

学生氏名	卒業論文・卒業制作題目	所属ゼミ
青山 莉子	特別な支援を必要とする児童生徒への支援の現状と今後の展望 一小学校の特別支援学級と通常の学級に注目して一	(落合)
秋月 蓮華	小学校国語科「読むこと」における大規模調査を踏まえた授業改善の在り方に関する研究	(水戸部)
浅野 利加子	シンガポールと日本の算数教育についての研究	(坂井)
旭林 愛佳	情報活用能力を育成する社会科授業の開発 一デジタル教科書の活用を通して一	(松岡)
旭 彩衣	自閉症スペクトラム児の食事に関する行動の問題に関する研究	(滝川)
芦田 愛奈	小学校における宿題のあり方 一自己調整力に注目して一	(宮崎)
東 葉月	子ども食堂についての研究 一地域・学校・教師が連携するために一	(大橋)
阿部 莉里香	VRを活用した校外学習の教材開発 ～滋賀県立琵琶湖博物館を事例として～	(松岡)
有原 咲希	学級担任による給食時間の指導	(表)
井谷 香菜都	障害者きょうだいの心理的特徴とライフコース	(村井)
今矢 久琉美	子どもの居場所とその意義に関する考察 一ブレイパークの取り組みを事例として一	(岩槻)
井村 光希	学校と地域社会の連携の在り方に関する考察 一愛媛県立南宇和高等学校の事例を基に一	(岩槻)
岩崎 愛梨	あいまいさ耐性を育てる外国語教育とは	(落合)
岩田 知暁	日本の今後の教育の在り方とは ～オランダのイェナプラン教育導入をもとにして～	(福永)
上尾 莉子	ジオパークの教育力を用いた修学旅行と環境学習の提案	(宮野)
植田 詩乃	一貫したこどもの支援を行うための行政組織再編・統合の可能性	(村井)
遠藤 彩花	地域と共に作る持続可能な学校給食	(表)
遠藤 遥香	環境思想から考える持続可能な環境教育プログラムの提案	(宮野)
尾家 知那	応用行動分析学による子ども理解	(村井)
大本 和	多様性を育む道徳授業 一「わたしはあかねこ」の絵本を活用して一	(齊藤)
岡本 真里奈	自然体験活動が発達障害児に及ぼす影響とその要因	(村井)
荻野 日菜子	学校の心理的安全性と教師の役割	(宮崎)
尾崎 加奈	生徒指導の機能を生かした国語科学習指導	(水戸部)
小田 愛	低学年における道徳の教科書の教材文に関する比較研究 一「きんのおの」を題材として一	(森)
小田 恵里奈	子どもの居場所づくりに必要な学校の取り組みに関する考察 一京都市立開晴小学校の事例に焦点を当てて一	(岩槻)
小野 紗佳	若者流出対策のカギを握る地方創生	(森)
掛谷 奈未	ICTを活用した発達障害のある子どもへの授業実践と指導法に関する研究	(滝川)
笠井 初音	演劇と多様性の尊重 一外国劇の制作に注目して一	(宮崎)
片山 円花	ガールスカウト活動の現状とその意義についての考察 ～京都府第57団の事例から～	(岩槻)

卒業論文題目

勝	妃香留	小学校の「総合的な学習の時間」における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な指導をめぐる課題 —先行実践事例の検討を通して—	(森)
川	上 理 子	現代における校則の改正とその流れ	(森)
河	田 真 歩	児童期の食事環境が大学生の食事環境に及ぼす影響	(表)
岸	上 朋 香	病気療養する子どもが自分の居場所を確保するための 教育体制と教師の役割に関する研究	(滝川)
北	田 千 陽	絵本を活用した道徳科「多様性を理解する」ことの授業構想	(齊藤)
北	山 千 夏	学級経営とインクルーシブ教育	(福永)
黒	川 未 悠	子どもの自己肯定感を高める学校の教育のあり方	(玉村)
小	嶋 那 歩	知的障害を伴う ASD 児の要求行動の特徴と支援のあり方に関する研究	(滝川)
小	林 紗 也	日本の現状に即したインクルーシブ教育実現の課題と可能性 —「特別支援教室」構想を手掛かりとして—	(森)
齋	藤 望	子どもと共に創る対話的な学びについての考察 —授業の会話分析を踏まえて—	(齊藤)
佐	々木 ちひろ	特別支援教育における表現教育の意義と可能性に関する研究	(滝川)
貞	廣 香 乃	子どもの認知特性の評価方法とその応用についての考察 —認知特性の得意を生かした指導と授業づくりを目指して—	(落合)
實	松 綾 音	いじめ問題の解決を目指す指導マニュアルの開発	(松岡)
澁	谷 百 香	こども家庭庁の施策における所得制限撤廃の実現可能性に関する研究 —明石市が実現した施策の観点から—	(森)
澁	谷 紗 亜	小学校の通常学級における算数障害の子どもの現状と支援 —授業のユニバーサルデザイン化の視点から—	(落合)
嶋	田 美 緒	学習意欲を高める英語教育	(宮崎)
清	水 花 音	セクシュアリティ問題と教育現場での支援	(表)
清	水 裕 子	・制 作：子どもの居場所になる秘密基地『のびのび基地』 ・報告文：隠れる遊びから考える子どもの第三の「居場所」 一段ボールで制作する秘密基地—	(辻)
下	野 杏	「子どもの遊び場環境」整備の重要性	(福永)
高	篠 真 梨	性教育についての考察 —教師として子どもたちに伝えたいこと—	(大橋)
竹	山 京 花	小学校の教育活動における集団演技の意義 ～運動会に焦点を当てて～	(大橋)
田	澤 優 奈	ギフテッドの子どもの学びを実現するために —授業のユニバーサルデザイン化と個別最適な学びや協働的な学びの視点から—	(落合)
建	林 朋 香	地域活動によるエージェンシーの育成に関する研究	(坂井)
田	中 美紗貴	思いやりのプロセスを生かした読解力向上を図る読むことの授業づくり	(水戸部)
田	中 琉 翔	クラス全員の授業参加を目指すフロチャート作成 —ディズニーのエンターテイメントに基づいて—	(松岡)
出	口 遥 香	・制 作：絵本『ココときせつのおともだち』 ・報告文：外遊びと室内遊びをつなぐ絵本の研究	(辻)
長	尾 菜 月	読むことの多様な言語活動を取り入れた授業構想 —児童にとって楽しい国語科教育であるために—	(水戸部)
仲	川 陽	保育における「自然への感受性」の育み —ネイチャーゲームを活かした都市部における保育の提案—	(宮野)
那	須 あゆみ	学習意欲を高める授業づくり —子どもの心理的側面に基づいて—	(齊藤)
那	須 和 歌	TRPG を用いた低学年 ASD 児のソーシャルスキルの効果	(落合)
西	田 遥 香	児童が持続的な幸福感を得る授業づくりの検討 —教育を通じたウェルビーイングの現実—	(齊藤)
西	村 紗	知的障害を伴う自閉症スペクトラム障害の特性に応じた「遊びの指導」	(滝川)
西	村 す ず	若手保育士の困難感	(大橋)
野	田 美 月	日本の女性活躍における課題とその国際比較	(表)

発達教育学部紀要

陌 間 彩 夏	通常学級における読み書き障害児やその傾向のある児童への支援のあり方について	(玉村)
橋 村 理 沙	・制作：『木を素材にした音具』 ・報告文：教科横断授業の教育的意義 —図工科と音楽科をつなぐ題材の研究—	(辻)
畠 山 夢 生	森のようちえんにおける体験 —卒園後の様子に着目して—	(宮野)
花 本 早 紀	ネイチャーゲームを取り入れた環境教育の授業	(宮野)
林 妙 優	ネットいじめの実態とデジタル・シティズンシップ教育 —3つの事例から考える—	(齊藤)
東 美 希	自然体験活動を通じた「生きる力」の育成	(宮野)
引 網 風 香	特別支援学校(知的障害)高等部における進路指導およびキャリア教育、卒業後を含めた就労支援の現状と課題に関する研究	(滝川)
平 井 泉	現代における宗教の役割 —キリスト教青年団体の実態と意義に注目して—	(宮崎)
福 濱 萌	・制作：『さがしてみよう！いちねんかん』 ・報告文：文字読解が苦手な子供のための絵本研究	(辻)
藤 川 瞳	通常学級における教室環境のユニバーサルデザインとその効果について	(村井)
古 川 万 結	反転授業を活用した主体性を引き出す授業の在り方 ～武雄市のスマイル学習を参考に～	(松岡)
細 川 七 海	自己分析力の重要性と今後のキャリア教育のあり方	(宮崎)
堀 ななみ	どうすれば利き手の違いによる教育の差をなくせるのか	(村井)
堀 奈々美	小学校国語科「読むこと」における言語活動を工夫した授業実践の在り方に関する研究	(水戸部)
本 合 花 帆	日本におけるヤングケアラー支援の現状と課題 —ヤングケアラー支援先進国イギリスと比較して考える—	(岩槻)
本 田 倫 子	通常学級に在籍する特別な支援が必要な児童に対する支援の方法 —学校現場での実践に活かすために—	(齊藤)
正 木 鮎 香	放課後等デイサービスにおける保護者の施設選択	(表)
馬 塚 琉 凧	総合的な学習の時間におけるESDカリキュラムの開発 ～バングラデシュの縫製工場を題材にして～	(松岡)
松 田 明 莉	小学校国語科教育における音読指導 —個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて—	(水戸部)
松 田 怜 晏	音楽アウトリーチ活動の実態と今後の展望に関する考察	(岩槻)
松 原 和	コロナ禍下を経た学校体系の見直し ～不登校者のハードルとその対応策～	(福永)
松 本 萌 愛	ADHD 児との関わり方 ～二次障害防止に向けて～	(福永)
松 山 奈 央	教育におけるVRやAR, メタバース導入の検討	(福永)
三 上 莉 々子	知的障害者の卒業後の進路に関する現状と課題 —就労継続支援(B型)事業所の事例から—	(落合)
水 島 沙 文	ダウン症候群の急激退行を含む知的障がい者の成人期以降の精神疾患予防に向けた幼少期からの関わり —非認知能力に根ざしたモンテッソーリ教育理念を元に—	(落合)
美 田 いすず	主権者教育・シティズンシップ教育と投票率の向上	(宮崎)
三 好 杏 奈	通常学級における配慮の必要な児童への支援	(表)
棟 森 心 音	・制作：『自由に遊ぶ滑り台』 ・報告文：子どもの遊びと遊具 —遊具の教育的意義について—	(辻)
村 田 みのり	早期英語教育の視点に基づく小学校低学年の授業開発 —コミュニケーション技能の習得と語彙の拡大に着目して—	(松岡)
村 山 果 奈	学校ビオトープの自然を有効活用した授業の開発 —理科離れを防ぐために—	(宮野)

卒業論文題目

森山結衣	義務教育における学校の意義は学校以外でも果たせるのか ～不登校生徒と新しい学びの選択肢～	(森)
矢島優奈	不登校児童生徒の学びの場とその役割に関する考察	(岩槻)
柳沢優希	絵本の読み聞かせが子どもたちに与える心理的効果について	(村井)
山崎萌香	算数の学習に困難を抱える児童の支援に関する研究	(坂井)
山下恵里佳	児童の自発性を引き出す「遊び」を取り入れた単元開発	(齊藤)
山下裕菜	少年非行とその予防に関する学校の役割	(岩槻)
山中智晶	幼保小連携の観点からみた架け橋プログラムの特色	(森)
山中麻琴	小学校における剣道教育の可能性について —剣道と剣道教育の歴史から—	(大橋)
山本彩乃	スポーツをする女性の健康問題について —月経を中心に—	(大橋)
山本史栞	ICTを活用した国語科授業の在り方に関する研究	(水戸部)
山元美樹	通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童への支援 —授業のユニバーサルデザイン化に焦点を当てて—	(玉村)
横矢和奏	・制作：『こころばかばか』 ・報告文：いじめの種を減らすソーシャルスキルの研究	(辻)
吉田幸来	バレエの魅力に関する研究	(大橋)
吉田ねね	知的障害教育におけるオノマトペの教育的効果の考察 —特別支援学校における国語科授業実践の分析をもとに—	(玉村)
米田海愛	・制作：しかけ絵本『注文の多い料理店』 ・報告文：しかけ絵本の研究	(辻)
新田直子	通常の学級における学習障害児のための学習支援に関する研究	(滝川)
吉田菜那	非行少年の家庭環境と食生活	(表)

養護・福祉教育学専攻

学生氏名	卒業論文・卒業制作題目	所属ゼミ
青柳結花	女子大学生の体型・食行動へのこだわりに影響を及ぼす要因 ～SNSの利用と自己受容度からの検討～	(大川)
綾木愛花	介護職者の労働環境から見る人材不足解消の方策	(正野)
市ノ瀬菜々	援助希求能力について	(井上)
井上菜央	子どもの健康における食育の課題	(千葉)
今田和沙	日本人学校における保健室の実態とコロナ禍での学校保健活動の変化	(大川)
岩井ゆず	児童虐待に対するイメージと地域住民としての意識	(井上)
岩切朝美	養育者の叱り方、褒め方が与える子どもの自己肯定感への影響	(井上)
大塚柚季	定時制高等学校における養護教諭の役割と課題 —インタビュー調査による振り返りから—	(大川)
加本恵理	推し活が長寿に与える効果	(千葉)
川本夏帆	介護スタイルの国際比較	(正野)
上林みなみ	「癒し」における「ぬいぐるみ」の効果と課題	(千葉)
神原結佳	養護教諭のICT活用指導力の現状 —教員及び養護教諭を目指す学生との比較—	(大川)
岸本菜々花	10年間ににおける女子大学生の体格とダイエット実施の変化についての検討	(中村)
北川愛美	パーソナリティ障害の内側と外側 ～見えにくい障がいパーソナリティ障害の起因と他者から見たパーソナリティ障害～	(正野)
北島珠々奈	睡眠と3つの外的要因との関連 ～文献的研究と対策～	(井上)
木村朱里	月経痛及び月経に関わる諸症状についての意識と配慮	(井上)
古寺彩音	社会的養護に関する養護教諭の専門性向上のための研究について —教育と福祉の連携について—	(大川)

発達教育学部紀要

小柳来未	感受性の形成 ～ HSP 症状のある女性大学生の物語から～	(千葉)
近藤愛美	友人の関わりと自己肯定感の関係について	(井上)
坂本美咲	HSP と向き合う ―日本で広く知られている HSP と学術的な HSP の違い―	(下村)
貞方未月紀	水栓ハンドルへの接触回数と付着物質の関係及び学校水栓ハンドルの現状について ―ふき取り法 (A3法) ATP 測定による検証―	(中村)
篠原千聖	子どもの生きづらさの外的要因と支援策の検討	(正野)
芝池 雛	公立小学校の教室におけるエアコン使用下での CO ₂ 濃度測定による換気状況の評価	(中村)
澁谷かえで	幼少期のスキンシップと他者との距離感について	(井上)
白瀬 ゆかり	親の精神疾患が子どもの成長発達に与える影響とその支援に関する文献検討	(井上)
鈴木里奈	日本における現代のステップファミリーの課題と支援実践	(千葉)
高木 暁音	認知症における日本とイギリスの国際比較	(正野)
竹邊 時華	いじめ場面における傍観者の分析 ―傍観者の減少と仲裁者の増加に対する教育制度の検討	(下村)
田中 日南乃	児童虐待によって苦しむ子どもを減らす為に	(正野)
田中美苗	『コロナ禍における大学生の心身の変化とメンタルヘルス』	(下村)
谷口七星	死にたい子どもにスクールソーシャルワーカーはどう向き合うか ～背景に発達障害を推定して～	(千葉)
知野見 楓果	女子大生の月経随伴症状に対するセルフケアと低用量ピルに関する使用実態・認識調査について	(大川)
出口 友菜	自己肯定感と社会的背景の関連性についての検討 ―Google トレンドを用いて―	(下村)
徳永 佳月	女性の発達障害とストレスモデルについて	(千葉)
永手 伶佳	子ども本人におけるヤングケアラーの実態分析に基づく支援方法	(千葉)
中村 和国	学びの多様化学校 (旧不登校特例校) の在り方と不登校生徒との関わり方について ―教職員へのインタビュー調査を通して―	(大川)
鍋島 三奈帆	子宮頸がん及び HPV ワクチンに関する意識調査 ―京都女子大学の学生を対象に―	(下村)
西川 小百合	コロナ後における女子大学生の心身の変化 ―登校回避感情との関係―	(大川)
西谷 実沙紀	摂食障害予防についての文献研究	(下村)
西村 華乃	女性が援助交際を行う理由についての一考察 ～圓田浩二氏による3類型モデルからの検討～	(千葉)
橋野 あおい	現行の性教育と包括的性教育における指導者の意識把握のための研究	(下村)
橋本 琴音	SNS と醜形恐怖懸念の関係性について	(井上)
長谷川 千華	女性のキャリアに関する課題	(千葉)
濱田 梨月	福祉現場におけるアロマセラピーの可能性	(井上)
二神 瑠菜	趣味が及ぼす主観的幸福感への影響について	(井上)
古木 晴菜	虐待を受けて育った児童に対するその後の心理支援の検討	(正野)
真崎 美侑	教育虐待が子どもに与える影響	(下村)
松岡 千波	女子大学生のコロナ禍における時間の使い方と主観的幸福感の関連について	(大川)
圓井 伶菜	いじめ場面における傍観者の分析 ―傍観者の減少と仲裁者の増加に対する教育制度の検討―	(下村)
三浦 明日香	女子大生の睡眠と疲労の関係について	(大川)
味村 美月	女性の結婚観・恋愛観の変化を時代背景や少子高齢化問題、人生の選択肢の多様化などと絡めて明らかにする	(正野)
村上 智咲	若年女性における痩せ志向の高まりについて ―痩せ願望・ダイエット、SNS、自己肯定感の関連性―	(井上)

卒業論文題目

室 美沙希	別室登校児童の支援における有効な手立て ～養護教諭の対応に焦点を当てて～	(西岡)
森 川 佳 音	いじめ場面における傍観者の分析 —傍観者の減少と仲裁者の増加に対する教育制度の検討—	(下村)
八 木 香菜子	持続可能な福祉事業の探究	(正野)
矢 野 あられ	日本とフィンランドの子育て支援の比較から見る子育てのしやすさにつながる支援とは	(正野)
山 内 咲 季	日本におけるこれからの町おこし	(正野)
山 口 優 奈	成人女性における発達障害が引き起こす問題と直面する生きづらさについて	(下村)
山 下 真 実	ASD 児の母親が持つ育児困難感への寄り添い方の検討	(吉川)
山 本 光 優	日常的なストレスの軽減に関わる音楽の有用性に関する文献研究	(西岡)
矢 守 陽 和	テーマ型コミュニティの現状と課題	(吉川)
若 林 樹 里	高齢者施設での人形による安らぎの効果	(吉川)

音楽教育学専攻

学 生 氏 名	卒業論文・卒業制作題目	所属ゼミ
高 尾 朱 音	自作品 ピアノ・エレクトーンアンサンブル《YURAGI》について ～感情や自然が生み出す揺らぎを音楽で表現する～	(佐藤)
天 野 萌 音	アンリ・トマジ《アルトサクソフォンとオーケストラのためのバラード》 における「喜びと悲しみ」：主要テーマに着目した分析を通して	(坂本)
荒 島 佳 奈	ジョゼフ・モーリス・ラヴェル《クープランの墓》に関する一考察	(大谷)
稲 原 南 穂	任天堂「どうぶつ森」における音楽及び音響に関する考察	(荒川)
上 田 陽 代	中学校における合唱指導のあり方についての一考察 —ICT を活用した 少人数でのパート練習方法に焦点を当てて—	(関口)
上 山 奏 未	イーヴォ・ポゴレリッチの演奏について	(荒川)
鍵 本 明日香	小学校の授業における音楽アウトリーチ活動の現状と課題 —西宮市小 中学校アウトリーチ事業「Touch heArt! program」における組織間連 携の事例から—	(田崎)
梶 原 詩 織	フランツ・リスト《二つの伝説》より〈波を渡るパオラの聖フランチェ スコ〉に関する一考察	(土居)
亀 岡 真美子	シューベルト作曲〈Ganymed Op.19-3 D544〉に関する一考察	(ガハプカ)
菊 川 桃 子	《アルトサクソフォンのためのソナタ Op.19》に関する考察 ～クレス トンの作風から考える楽曲の魅力～	(坂本)
小 谷 琴 雪	ディズニー映画におけるディズニーヴィランズの音楽と東京ディズニー リゾートのエンターテインメントプログラムへの応用に関する一考察	(荒川)
小 林 千 織	公共ホールにおける社会包摂活動の一考察 ～可見市文化創造センター ala を事例として～	(田崎)
塩 田 優 衣	自作品《息吹～平和を願って～》について —世界の民族音楽との複合	(佐藤)
塩 塚 ちひろ	ロベルト・シューマン作曲《ミルテの花 Op.25》より 第1曲〈献呈〉 に関する一考察	(ガハプカ)
武 田 結	フランツ・シューベルト《ピアノ・ソナタ第19番》D958より第1楽章 に関する一考察	(大谷)
谷 村 春 菜	読み聞かせにおける音楽の役割と聞き手に与える影響について	(荒川)
中 井 萌 水	自作品《With Lake》について —琵琶湖をテーマとした音楽創作	(佐藤)
中 野 琴 子	F. ショパン《ポロネーズ第5番》Op.44 に関する一考察	(大谷)
西 島 未 紗	中高生の部活動における吹奏楽初心者のための基礎練習指導法 —個人 の練習方法を中心として—	(関口)
野 村 優 菜	共感覚保持者の調性の感じ方に関する一研究 —共感と理解の概念より—	(田崎)

発達教育学部紀要

原 田 瑞 葵	モーツァルト作曲 オペラ《Der Schauspieldirektor》より〈Bester Jungling〉について	(ガハブカ)
東 永 久 音	J. ブラームス作曲 〈Von ewiger Liebe〉 Op. 43-1 に関する一考察	(ガハブカ)
日 高 晴 野	レスピーギ作曲 〈舞踏への誘い〉, 〈最後の陶醉〉, 〈バッラータ〉に関する一考察	(ガハブカ)
藤 野 里 音	《ペロー童話より3人の女の子と4つの物語》—ステレオタイプの脱却を図った楽曲創作—	(佐藤)
藤 原 那 帆	J. ドゥメルスマン《創作主題による幻想曲》の形式分析：ポロネーズのリズムに注目して	(坂本)
藤 原 理 子	学校教育における校歌の意義と分析 —30校の校歌の分析を中心として—	(関口)
松 岡 陽 代	J. ブラームス《ピアノ・ソナタ第3番》Op. 5 第1楽章及び第3楽章に関する一考察	(土居)
松 田 美 空	《グノー＝リスト編：歌劇「ファウスト」のワルツ》S. 407に関する一考察	(土居)
三 木 志 帆	自作品《環》について ～音楽による色相環の表現～	(佐藤)
森 い ぶ る	自作品《月姫》《息吹》について —和楽器を用いた作品創作—	(佐藤)
森 下 花 帆	ドビュッシー《前奏曲第1集》より〈アナカプリの丘〉〈垂麻色の髪乙女〉〈パックの踊り〉に関する一考察	(大谷)
安 川 珠 海	ベートーヴェンの交響曲におけるチェロの役割と奏法の一考察	(田崎)
藪ノ内 なるみ	クロード・ドビュッシー《オーケストラとアルトサクソフォンのためのラプソディ》に関する考察 —印象主義音楽との関わりに注目して—	(坂本)
山 岸 万 恵	幼児期の音楽教育におけるマーチング活動の在り方	(関口)
山 根 未 来	初心者のためのホルン練習法の検討：吹奏楽部で初めて楽器を演奏する生徒を想定して	(坂本)
山 本 波 音	《華麗なる変奏曲 変ロ長調》Op. 12に関する一考察	(土居)
吉 田 怜 加	F. ショパン《スケルツォ第2番 変ロ短調》Op. 31に関する一考察	(土居)
米 田 桃 香	ヨハネス・ブラームス《クラリネットとピアノのためのソナタ第2番 変ホ長調》作品120-2 第1楽章の分析 —ソナタ形式における不完全展開部の機能—	(坂本)
松 本 花	合唱組曲《共に生きる》の創作 —Emily Dickinson の詩の世界観を表現する	(佐藤)

令和5年度

発達教育学部児童学科 卒業論文・制作題目

学生氏名	卒業論文・卒業制作題目	所属ゼミ
東 沙 紀	ヤングケアラーの早期発見における民生委員の重要性	(黒田)
荒 木 彩 葉	発達的な偏りがある子どもに対する教師及び仲間からの支援 —大学生を対象とする自身の幼少期から青年期までの回顧法による検討—	(古池)
安 藤 真 子	幼児における運動器機能とリズム運動に関する研究	(黒原)
石 井 陽 菜	児童期の人間関係が自己肯定感に及ぼす影響 —仲間と教師からのソーシャルサポートの検討—	(古池)
石 田 愛 佳	細田守作品において表現される現代の子ども・家族 —『未来のミライ』を中心に—	(黒田)
伊 藤 優希菜	保育における独楽遊びの現状と意義	(松崎)
今 川 美 文	子ども同士が繋がるきっかけを生む木育玩具「き・づな屋さん」	(矢野)
今 田 歩 希	『ミリオンぶっく2023』から見る乳児向け絵本のオノマトペの傾向	(上月)
居 松 若 那	絵本にみる「リズム性」について	(川勝)
上 西 優 香	保育現場における園庭を活用した自然体験活動を促す取り組みの提案	(川勝)
江 間 日花莉	母親の養育態度が青年期の承認欲求と自尊感情に及ぼす影響	(浦田)
大 石 紗玖来	子どものごっこ遊びに反映される子どもを取り巻く環境	(松崎)
岡 林 仁 美	日本におけるブックスタート20年の歩みと今後の課題	(上月)
笠 嶋 梨 乃	女子大学生における心理的ストレスと食行動の関連性	(黒原)
柏 野 萌	遊びの価値を伝えるパズル型木育玩具「凸凹(でこぼこ)わくワク」	(矢野)
柏 樹 真由子	絵本におけるオオカミの描かれ方について	(川勝)
柏 木 美 穂	幼児期に家庭で子どもの自尊感情を育むために —育児書の内容とその評価—	(黒田)
兼 澤 南 美	幼児の遊びと父親の参加との関わり —オンラインプログラムの録画分析—	(瀬々倉)
神 高 莉 萌	地域の木を身近に感じる構成玩具「たかまつん」	(矢野)
菊 地 歩 香	保育者の経験年数と保護者支援の関係 —親子支援を学生時代に学ぶことの意義—	(瀬々倉)
岸 本 明花音	思いやりが描かれた絵本の教材研究 —援助者の特徴と思いやり行動が向けられる対象に着眼して—	(上月)
北 島 理 乃	ジブリ音楽の魅力 —久石譲の楽曲に着目して—	(神原)
木 俣 優 香	乳児の感覚の発達と母親に癒しを与える木のモビール「ゆらゆらぶかり」	(矢野)
木 村 涼 花	子どもにとっての駄菓子屋の役割について —O商店のインタビュー調査をもとに—	(川勝)
桐 畑 美 季	幼稚園登園時における保育者の援助	(上月)
河 野 奏	生きやすい環境をつくるHSCのための玩具「音の実(な)る木」	(矢野)
古 賀 さくら	保育学生の障害児者に対するイメージについて —施設実習の経験を通して—	(浦田)
小 林 瑞 葵	保護者の育児不安と育児サポートの関連性 —幼稚園に子どもを通園させている保護者への調査から—	(浦田)
小 南 初 音	女子大学生におけるメンタルヘルスと楽観性及び姿勢との関連	(黒原)
佐 治 奈々香	保育者の実習生に対する指導と実習生の積極性	(上月)
塩 田 菜津美	多文化共生保育を推進するための指導計画	(黒田)

塩見郁佳	福知山市における公園の実態調査 一大江地区を中心に	(川勝)
篠崎真海	幼稚園と障がい者施設におけるアウトリーチ活動の実践とその課題 —京女音楽隊パブリカの演奏を通して—	(神原)
芝智子	読み聞かせに適した絵本についての一考察 —昔話絵本「あかずきん」 を例として—	(川勝)
島田実宝	子どもの周産期死亡を経験した両親に対するグリーフケアの現状と課題 —父親に注目して—	(黒田)
清水真鈴	オンラインプログラムにおける幼児のコミュニケーション —非言語的 交流の意義—	(瀬々倉)
住所実咲	アニメ「おジャ魔女どれみ」シリーズに見る社会問題の描き方	(川勝)
首藤大果	被養育経験が養育態度に与える影響について —ネガティブな被養育経 験を通して—	(浦田)
白波瀬日菜	胎教と音楽 —胎児に影響を与える音に着目して—	(神原)
清野菜那	両親の養育態度が青年期女性の容姿に対する自己評価に与える影響 —自己愛を媒介変数とする検討—	(古池)
高澤星香	乳幼児にとっての人形遊びのおもしろさとその遊びによって促される発達	(上月)
高野沙英	若年女性における習慣的な運動経験がストレス・コーピング・スキルに 及ぼす影響	(黒原)
高橋優衣	乳幼児期における養育者とのスキンシップとアタッチメントが児童期の ソーシャルスキルに及ぼす影響	(古池)
竹下志音	保育現場における子どもと大人の人形劇鑑賞の違い —笑いの生起と行 動反応を中心に—	(松崎)
田中想与	子ども子育て支援におけるふれあい歌あそびの意義	(瀬々倉)
田邊彩乃	「こどものとも」における長子に対する役割期待の分析 —527号～ 801号の長子の描かれ方より—	(松崎)
谷井陽香	女子学生における骨格筋量と筋力および運動機能との関連	(間瀬)
田村菜帆	「いただきます絵本」にみられる食事風景と食育への活用	(上月)
角田桃花	両親の養育態度と仲間集団内のいじめ経験が青年期の対人恐怖心性に与 える影響	(古池)
出口杏	スウェーデン・ニュージーランドにおける多様性を尊重する保育 —子 どもの意見表明に焦点をあてて—	(上月)
東郷真子	幼児が遊びを通して思考力・社会性を育むための布製玩具「どこどこ？ あいうえお」	(矢野)
友成颯希	女子学生における骨強度と運動経験との関連性 —運動種目とその継続 期間による検討—	(間瀬)
友廣咲季	今日の幼稚園・こども園における給食の食べ残しの実態と保育者の援助	(上月)
豊中琴音	乳幼児向け音楽コンサートのプログラムに関する一考察 —音楽隊「パ ブリカ」の活動を中心に—	(神原)
鳥居千穂	児童期における父親の養育態度と言葉かけ及び父親への信頼感が青年期 女性の感情状態と情動表現スタイルに与える影響	(古池)
内藤遥花	幼稚園と障がい者施設におけるアウトリーチ活動の実践とその課題 —京女音楽隊パブリカの演奏を通して—	(神原)
長江美佑	発達障害児における運動療育の効果	(黒原)
中尾明日香	男性プリキュアが男児の性役割形成に与える影響 —『ひろがるスカ イ！プリキュア』に登場するツバサの描かれ方に注目して—	(松崎)
中川絵里香	保育者の運動経験の差が幼児の運動遊びに与える影響について	(黒原)
長澤里奈	ヨシタケシンスケ絵本作品と現代日本の生きづらさ	(黒田)
中田咲穂	感性の高い子どもの理解と支援	(上月)
中東恵子	わらべうた〈ゆうびんやさん〉に関する一考察	(神原)
那須鈴音	絵本「だるまちゃん」シリーズにみるかこさとしの遊び論から考える保育	(松崎)

卒業論文題目

南 利 紗	HSP 特性, 中学生期の親の養育態度, レジリエンスが青年期の過剰適応と生きづらさに与える影響	(古池)
西 岡 佳 歩	感覚処理感受性及びその自己認知が自己受容と心理的ウェルビーイングに与える影響 —共感性と自己受容との関連に着目して—	(古池)
西 川 友 望	子どものコミュニティの輪を広げる大型布絵本「“なかよし” Big ブック」	(矢野)
西 谷 実 華	少女雑誌「ひまわり」にみる中原淳一の少女への思い —少女雑誌「ひまわり」の「みだしなみせくしょん」を中心に—	(松崎)
花 井 美 緒	幼少期の家族団らん経験が青年期の共感性とソーシャルスキルに与える影響 —食卓の雰囲気及び食事場面での親からの言葉かけを中心に—	(古池)
濱久保 沙 也	親子で絵本を楽しむために保育施設では何ができるか	(黒田)
濱 崎 真 穂	女子大学生におけるスマートフォン依存度と健康感および睡眠の質との関連	(間瀬)
濱 田 ひなた	小児医療現場における子どもの権利擁護 —子どもの声から考える現状と課題—	(浦田)
林 真 子	女子大学生における CM 音楽の認知に関する研究	(神原)
播 磨 美 里	女子大学生における CM 音楽の認知に関する研究	(神原)
東 川 加 奈	オンライン上における環境構成 —ZOOM の背景色と人物の印象—	(瀬々倉)
福 田 梨 瑚	幼児における運動器機能とリズム運動に関する研究	(黒原)
藤 岡 愛 梨	女子大学生におけるメンタルヘルスと楽観性及び姿勢との関連	(黒原)
藤 田 結	保育園における音環境の実態に関する一研究	(神原)
藤 本 花 音	早期教育における自発的な遊びに繋がる玩具「量って計ってはめて」	(矢野)
布 施 美 香 子	保育園における音環境の実態に関する一研究	(神原)
船 木 凜 々 子	女子学生におけるやせ願望と摂食態度との関連性	(間瀬)
堀 彩 優 里	女子学生における骨格筋量と筋力および運動機能との関連	(間瀬)
松 尾 菜 々 美	大学生におけるコロナ禍とその後の主観的心身状況および運動量の変化	(黒原)
松 元 美 和	手の巧緻性と想像力の発達を促すことのできる木育玩具「へんしんでんしゃ」	(矢野)
松 本 祐 佳	親子の時間に癒しと幸福感を生み出す木の乳児用品「もくいくーはん木(こ)ろりん」	(矢野)
三 木 幸 音	父親の子育てと被養育体験 —父親の子育ての世代間伝達—	(瀬々倉)
水 谷 百	認定こども園内施設における子ども・子育て支援 —保育者の新たな役割—	(瀬々倉)
三 奈 木 愛 梨	避難所における妊産婦・乳児支援 —保育学生へのアンケート結果から—	(浦田)
宮 川 由 水 葉	子ども子育て支援プログラムの内容と幼児のコミュニケーション —幼児の発信を中心に—	(瀬々倉)
宮 崎 麻 里 花	人形を用いたごっこ遊びによる育ち —幼児期後期の子どもの事例分析から—	(松崎)
宮 田 百 萌	女子大学生における心理的ストレスと食行動の関連性	(黒原)
村 上 葵	全国58自治体における一時預かり事業の実施体制 —地域間における実施体制の格差に着目して—	(浦田)
村 田 夏 鈴	女子学生における骨強度と運動経験との関連性 —運動種目とその継続期間による検討—	(間瀬)
森 中 晴 香	女子学生における低体重者の身体組成と食行動	(間瀬)
森 本 さ くら	女子学生における低体重者の身体組成と食行動	(間瀬)
籾 内 も も	子どもを対象にした舞台芸術の現状と課題	(松崎)
山 内 紗 和	女子大学生におけるスマートフォン依存度と健康感および睡眠の質との関連	(間瀬)
山 上 朋 花	集団行動に不安を抱える子どもを支援する空間づくり「ゆっくりして小〜屋」	(矢野)
山 崎 結 帆	幼児の感性をはぐくむ布絵本の制作	(神原)
山 下 彩 華	女子学生におけるやせ願望と摂食態度との関連性	(間瀬)

発達教育学部紀要

箭本帆南	社会的な困難を抱える若者の自立サポート —京都中小企業家同友会の取り組みから—	(浦田)
吉住春穂	大学生が中学生・高校生の頃に抱いていたスクールカウンセラー(SC)のイメージ —SCの業務とイメージとの関連を中心に—	(古池)
吉田真悠	パネルシアターの小学校教材としての有効性	(川勝)
米村歩奈	乳幼児向け音楽コンサートのプログラムに関する一考察 —音楽隊「パプリカ」の活動を中心に—	(神原)
若井真奈花	癒しを与え、音の違いを楽しむ音具「ゆら木(ぎ)カラコロ風リン」	(矢野)

令和5年度

発達教育学部教育学科心理学専攻／発達教育学部心理学科
卒業論文・制作題目

学生氏名	卒業論文・卒業制作題目	所属ゼミ
西村 咲穂	着色した顔画像の表情判断における反応速度	(伊東)
弓削 穂乃実	大学生における仮想世界と実世界の自尊感情と仮想的有能感に関する研究	(広瀬)
宮本 ちはる	ゲイン・ロス効果の性差について	(中井)
秋山 綾乃	望ましい食行動におけるセルフ・コンパッションとセルフコントロールの関連の検討	(岩原)
石丸 日佳里	学業における先延ばしのパターンと完全主義の関連	(下津)
出水 志緒梨	表情認知における注意欠如多動症傾向とスキニングパターンの関連	(中井)
板橋 葵依	理由と自意識の種類が懸念的被透視感に及ぼす影響	(広瀬)
今堀 亜美	対人依存傾向が表情認知に及ぼす影響	(広瀬)
浦野 未欧	間食の摂取方法と対人ストレス、間食中・後の気分の関連について	(松浦)
大友 優依	恋人から受けるソーシャルサポートと同性友人から受けるソーシャルサポートの質的違いについての検討	(広瀬)
岡本 美月	大学生における類型論の性格検査を用いた自分と他者の相性に関する考察	(中井)
小田 志保子	思春期から青年期の困難な出来事における他者からのサポートが体験の意味づけおよび外傷後成長に及ぼす影響 —ソーシャル・サポートの有効性についての考察—	(稲塚)
加藤 美咲	瘦身願望と賞賛獲得欲求およびInstagramとの関連	(下津)
神田 百々香	顔と声の組み合わせの合致・違和感に関連する性格印象	(伊東)
黒川 耀	タスクスイッチング課題におけるスイッチング前の課題数が切り替えコストに及ぼす効果	(広瀬)
小谷 亜由美	情動知能と自己志向的完全主義が社交不安に及ぼす影響	(下津)
齋藤 帆香	大学生における集団運動と個別運動が気分に及ぼす効果の比較	(中井)
坂井 美香	蛙化現象と性格：交際相手に理不尽に幻滅する女子大学生	(伊東)
鈴木 莉子	指導者のフィードバックの種類が学習者の動機づけに及ぼす影響	(広瀬)
曾田 朋伽	過剰適応が対人ストレスコーピング及びストレス反応に与える影響について	(松浦)
高井 梓希	愛着スタイルと仮想的有能感の関係についての研究	(広瀬)
高宮 由衣	承認欲求と利用動機がネット依存と自己呈示・自己開示に及ぼす影響	(八田)
谷田 さくら	心理的距離感・集団同一性・共感性が共感的羞恥に及ぼす影響	(八田)
加治木 雅奈	女子大学生における特性不安がノスタルジア喚起前後の感情の変化に及ぼす影響	(下津)
永井 麻友	期間限定商品の購買意欲を促す心理的メカニズムの検討	(八田)
中岡 絵美	努力に対する考え方、目標追求行動、心理的well-beingの関連について	(稲塚)
中澤 瑞季	心理的居場所感と過剰適応の関連 —中学生の頃と大学生の比較を通して—	(稲塚)
長島 萌乃	観察者の性格特性と顔記憶の関連	(伊東)
中根 咲菜	照明色が音楽聴取時の音楽の感情評価に与える影響	(伊東)
中村 羽菜	高校時代の学校適応感と大学生の自己受容および他者意識の関連	(中井)
中山 穂乃花	大学生の友人関係における否定的な内容の自己開示への抵抗感要因について —自尊心の高低に着目して—	(稲塚)

発達教育学部紀要

中山 結加里	大学生の首尾一貫感覚が抑うつに及ぼす影響に対する自発的な自己観の好ましさによる媒介効果の検討	(岩原)
西田 奈都	遅刻の言い訳が友人への安心感と不信感に与える影響	(伊東)
西田 萌	父娘の関係と結婚観・子育て観の関連について 一娘の自立性・自尊感情を媒介として一	(松浦)
西山 聖夏	マインドリーディング能力と共感性及び社会的スキルとの関連について	(松浦)
野村 怜泉	N F 表現と自己愛特性が受け手のフェイス脅威と反応に及ぼす影響	(八田)
長谷川 結	女性における SNS 依存と承認欲求	(伊東)
林 口 寧々花	女子大学生における子どもへの関心と母親への親密性の関連	(中井)
平塚 真依	感謝表出スキルが関係満足度・孤独感・主観的幸福感に及ぼす影響	(八田)
藤原 菜々美	ソーシャルキャピタルと認知機能の関連における余暇活動の媒介効果に関する検討	(岩原)
星本 真奈	コントロール知覚と認知機能の関連における加齢の自己知覚の調整効果の検討	(岩原)
堀 楓 佳	音楽のテンポが焦燥感と作業効率に与える影響	(松浦)
堀 部 百花	客体的自覚と社会的比較の違いがもたらす心理的反応に関する研究	(八田)
森 愛 香	母娘関係のあり方が娘の心理的 well-being に及ぼす影響	(稲塚)
山田 素子	自伝的記憶の有無が子犬動画視聴における感情変化に及ぼす影響	(下津)
山本 美織	ガイドヘルパー研修が大学生受講者の障害者観とセルフ・コンパッションに及ぼす影響	(中井)
山本 美月	慢性疼痛患者における痛みと破局的思考および怒り反すうの関連性	(岩原)
若杉 梨子	女子大学生の友人関係における“キャラ”と居場所感の関連	(稲塚)
和田 名永	SNS 上での自己呈示および自己不一致と自尊感情が SNS 依存に及ぼす影響の検討	(下津)

『発達教育学部紀要』投稿規定

2014/02/18 教授会後、学部所属教員の了承済み

2019/05/29 改正

(新学部創設に伴い、編集委員会にて、学則に基づいて掲載順を改正)

〈投稿規定〉

第1条 本誌は、京都女子大学発達教育学部の研究活動、及びそれに関連する情報を発表することを目的とし、年一回発行する。

第2条 本誌は、本学部の諸領域に関する研究論文、研究報告、評論、書評、及び発達教育学部の教育研究活動に関する情報、その他（以下、論文等という）を掲載する。

第3条 論文等の掲載は、教育学科教育学専攻、養護・福祉教育学専攻、音楽教育学専攻、児童学科、心理学科の順に行う。

第4条 本誌への投稿資格は次の通りとする。

- (1) 京都女子大学発達教育学部専任教員。
- (2) 上記専任教員を論文の共著者とした研究分担者。
- (3) その他、編集委員会が特に認めた者。

第5条 執筆者は、論文等の原稿提出に先立って、同一もしくは関連領域を専門とする研究者の校閲を経ることとする。

第6条 論文等を本誌に掲載するにあたり、執筆者は他者の著作権等を尊重しなければならない。そのために必要な手続きは、執筆者が自ら行うこととする。

第7条 投稿された論文等の採否は、編集委員会によって決定する。

第8条 執筆者に抜き刷り30部を贈呈する。それを超える部数は実費負担とする。

第9条 本誌に掲載された論文等は、原則として全文又はその一部を電子化し、京都女子大学学術情報リポジトリサーバ或いはその他のコンピューターネットワーク上で公開する。

- 2 執筆者は、本誌に掲載された論文等の著作権のうち、複製権及び公衆送信権を京都女子大学に許諾する。但しこれらの許諾は取り消すことができる。

第10条 この規定は平成26年4月1日より施行する。

編集後記

発達教育学部紀要第20号という1つの節目を迎えました。

コロナ禍を経て我々は他者とのコミュニケーションには様々なツールが存在していることを再認識しました。多様性を尊重し強い意志をもって他者と関わろうとする思いは、ICTの利活用や文字によるコミュニケーションのあり方にも影響を及ぼしました。学部全教員による原稿の確認作業や編集委員会をOne Drive・Teams・Zoomなどを用いて行い、本誌の書体をより広く多くの方々にご高覧いただけるようにユニバーサルデザインのUD書体へと変更致しました。

今後の教育や研究が更に深化し発展することを念じ、2年間の編集委員長の任を終えたいと思います。

発達教育学部紀要第20号

編集委員長 瀬々倉 玉 奈

編 集 委 員

委員長 瀬々倉玉奈

委員 井上 文夫 正野 良幸 関口 博子

玉村公二彦 八田 武敏 (五十音順)

京都女子大学

発達教育学部紀要 第 20 号

令和6年3月7日 印刷

令和6年3月8日 発行

編 集 京都女子大学発達教育学部紀要編集委員会

発 行 京都女子大学発達教育学部

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35番地

印 刷 山代印刷株式会社

BULLETIN OF THE FACULTY OF HUMAN DEVELOPMENT AND EDUCATION

No.20 March, 2024

CONTENTS

Yoshiki OMOTE, Maya OMOTE, Mami OMOTE : Practice of art and design workshop for elementary school students: Dyeing activities at after-school child care in Toride City	1
Takeshi SAKAI, Hideyuki AKAI : A Study on Perspectives for Assessing the Foundation of Mathematics in Early Childhood Education : Based on a Questionnaire Survey of Kindergarten Teachers.....	13
Shuji MITOBE : A Study on Systematic Japanese Classes in Elementary and Junior High Schools for 9 Years —Focusing on the writing process of setting the subject, gathering information, and examining the content—	25
Naoko MURAI : An Anthropological Meaning of Children’s Time as Playtime —A Case Analysis of Reflection in Childcare Practice	37
Hisayoshi MORI : A Characteristics of “Recitation” at the Dewey’s Laboratory School : Through Being Compared with the Dewey’s View of “Recitation”	47
Naoko Okawa, Yoshie Yamoto : ICT utilization by Yogo teachers in school health activities	59
Nami Gahabka : A Study Toward Making Sense of Instructional Language in Vocal Music Instruction : On the Concreteness of Images	67
Kota SAKAMOTO : An Approach to Comprehensive ‘Conducting’ for Elementary and Secondary School Music Education Teacher Training Course : Through the Fusion with ‘Ensemble’	77
Makoto YANO, Hirotsugu TAZUME, Masako YOSHIZU : Development of Teaching Materials Using Mokuiku for Realising ESD in Preschool and Primary Education II : Through the Practice of Local Fieldwork	89
Hiromi MATSUURA : Student Volunteer Activities for Children Attending at Separate Classroom	99